



御殿場市文化協会

ごてんば市文化協会だより

平成29年7月

第69号

発行 御殿場市文化協会

加盟団体数 144団体
会員数(H29年3月現在) 約4,000名

くろつぐみ



(市鳥)くろつぐみ
(市木)けやき
(市花)富士桜



— コンテンツ —

- 文化功労表彰者紹介・・・3
- 文化協会役員紹介・・・4,5
- 新しい仲間・文化の風・・・6,7

井伊直虎ゆかりの寺“龍潭寺”庭園にて

文化協会研修旅行 平成29年5月17日

会長挨拶

御殿場市文化協会会長 **田代 博久**



平成29年度の文化協会総会が無事終了し、新年度がスタートしました。文化協会は行政のご指導をいただき、昭和33年に13団体により連絡協議会として発足し、その後文化協会とし本年で59年を数えます。

会員数も4000名を越え、大きな組織となりますと、組織を守ることに汲々としてしまうと言われておりますが、原点にかえて新たな気持ちで新年度を迎えることが出来ました。

市民芸術祭も市民文化祭から衣替えして21年。行政と共に年々充実してまいりました。本年度は、9の展示部門、8のステージ部門、7のその他、が計画されております。

先人たちが作った伝統、文化を大切にしながら更に底辺を広げて市民1人1文化・1スポーツを合言葉に市民と共に歩いて行くことが出来れば素晴らしいことだと思います。文化芸術には、1人ひとりが感じることを表現したいという願望があると思います。又、感動すると、そこに生きがいを感じ、明日への夢が湧きます。文化活動は、地域の振興や観光資源になるといわれております。

文化芸術の力は、芸術を見ることも大事であり、自分でやってみるにより違う世界を発見することが出来るのではないかと思います。それにより、1人ひとりの良心が大きな問題を解決するきっかけ作りになるのではないかと思います。私達の住む街を活性化して、市民が元気になりますよう頑張ろうではありませんか。

社会教育課長挨拶

瀬戸 進吾



文化協会の皆様には日頃から市民の文化活動の推進役として、長年にわたり御尽力いただいていることに、深く感謝申し上げます。

今年度より文化の業務を教育委員会の社会教育課で担当する事になりました。

文化は目先の利益や実用的な役には立つものではありませんが、私達に感動や精神的なやすらぎ、生きる喜びをもたらす、生活に欠かすことの出来ないものです。

文化協会は昭和33年に連絡協議会として発足し、市民の能動的な芸術文化活動を支える身近な受け皿として、着実に歩いて来られています。

御殿場市の芸術文化振興の将来目標である「市民が主役の芸術文化が香るまちづくり」を目指し、市民一人ひとりが主役となり、担い手となりながら、暮らしを彩る芸術文化が豊かに息づくよう、行政と文化協会とで協働して取り組みたいと考えています。

文化功労表彰者紹介



西本 博一

烈山会(三曲連盟)

昭和41年から尺八を始められ、50年以上研鑽を積んでこられた実績をお持ちです。
また、平成25年から2年間評議員を務めていただきました。御殿場市や静岡県三曲連盟に所属し、他の団体との交流も多くあります。
近年では神山の「時の栖霞礼拝堂」でのチャリティーコンサート、市内小学校での出前講座等で活躍されています。

磯部 信子

富士あぞみ革工芸会
(手工芸連盟)

平成2年に文化協会に加入し、平成9年から2年間評議員を務めていただきました。ごてんば市民芸術祭文化展には率先して展示体験を行い、また、秩父宮記念公園での手工芸展等々、幾多の展示体験に協力されています。
カルチャー教室も数多くこなされ、後継者育成にも積極的であり、文化少年団体験教室には初回から参加し育成事業にも協力的で手工芸連盟を盛り立てています。

増井 宏子

喜楽会(茶道和交会)

入会以来今日まで、ごてんば市民芸術祭、文化少年団、さくら茶会など、数多くの茶会を担当されました。また、平成21年第24回国民文化祭静岡大会で、当市では大茶会が開催され、煎茶道静風流の見事な茶会を担当されました。和交会代表・評議員の後、引き続き文化協会理事として4年間、当市の文化向上、茶道文化発展のために、ご尽力いただきました。和交会の要の一人として、いつもにこやかに会員相互の親睦をはかっておられます。

文化協会役員

お任せください。
わがまちの文化を
私達が支えます。



会
長

田代 博久



副
会
長

米光 博



副
会
長

芹澤 智子

評 議 員



芹澤游葉
(書道)



土屋ナミエ
(洋舞)



高森裕香
(民謡)



白井温工
(合唱)



伊倉美代子
(華道)



高田正子
(民踊)



木村 進
(詩吟)



岡本ちづる
(器楽)



川波俊昭
(園芸)



小林繁明
(ダンス)



松永英子
(吟剣詩舞)



青木弘
(謡曲)



白石 勉
(美術)



高田恵五
(俳句)



木内喜久子
(日舞)



勝又翊夫
(三曲)

理 事



佐藤幸廣



栗原富夫



鈴木陽子



川口修江



高橋 武



福井真澄



秋田裕美



勝間田英幸

平成29年度～平成30年度

文化都市御殿場のために

副会長 芹澤智子

私はこの度、御殿場市文化協会副会長を仰せつかりました芹澤智子と申します。

副会長という重職に身が引き締まる思いであり戸惑いもありましたが、御殿場市の文化向上と発展のためとの強い思いから、微力ながらも貢献させて戴く覚悟でお引き受け致しました、どうか宜しくお願い申し上げます。

さて、文化協会に加盟されている諸団体の皆様には各種教室の開催や市民芸術祭に於ける発表や展示等で大変ご苦勞をおかけ致しております。又、文化少年団や名画劇場の協会自主事業に対しても、深いご理解とご協力を賜り大変感謝致しております。

私は御殿場民踊連盟に所属し、大好きな踊りに日々動んでいます。踊りは旧石器時代の壁画から、二万年以上も前に神々への畏怖の念から、人々の日常の暮らしの中から自然に発生したのが起源と推測され、そこから芸能が生まれたと考えられています。これからも私は命ある限り、悠久の歴史を誇る民踊という芸能文化を通じて、御殿場市に文化の大輪を咲かせ文化都市として、より一層の向上と発展を目指し、伝統文化伝承のために副会長としてできる限り努力して参ります。皆様方にはこれまで同様に、文化協会に対するご理解とご支援ご協力をお願い申し上げます。

監事



勝又昭雄
(俳句)



松本 眞
(合唱)

事務



勝又紀美子



横畑節子



小宮山洋子

社会教育課



勝又久生
(社会教育課補佐)



瀬戸進吾
(社会教育課課長)



石神玲奈
(事務)



米津亮信
(事務)



齋藤真知子
(事務)



市江洋子
(和装)



横山秋好
(囲碁)



富士原浩次
(手工芸)



飯塚昭夫
(歌謡・歌唱)



田代 悟
(将棋)



天野公俊
(民俗)



勝亦 裕
(アート作家)



高橋廣子
(着付)



木下輝章
(写真)



岡崎京子
(生活文化)



高村富美恵
(茶道)

～ 新しい仲間 ～

『ごてんばアート作家協会』

代表 山本敦美



平成23年の市民会館ホール棟耐震工事後のリニューアルオープン行事のひとつとして、当時文化協会長の故鳥宮暁秀氏が提案され、市の主催による「ごてんばアート作家展」が、平成27年まで4回開催されました。

その後、この作品展に出品した書道、美術、写真の作家達有志が、更に自主的に活発な活動を展開していこうと、平成27年11月に「ごてんばアート作家協会」を設立しました。

新体制になっての作品展は、平成28年6月に富士山樹空の森の企画展示室をお借りして「第5回ごてんばアート作家展」を開催致しました。次回「第6回作家展」は本年9月に前回と同会場の富士山樹空の森で開催するよう準備中ですが、今年から御殿場市文化協会に仲間入りさせていただきましたので、文化協会の各分野の方々にもご高覧賜り、ご批評ご指導いただき、より高いレベルの作品作りに精進したいと願っております。



『東観会』

代表 渡辺弘美



東山区発祥の地である東山観音堂で、十数年前から秋の文化祭に茶席を設けさせていただいております。

4年前から桜祭りの一環として、東山区及び市の商工観光課のご支援を受け、同じく観音堂で添釜を行ってきました。「とらや工房」の上生菓子と抹茶が無料で振舞われるというのが魅力で、毎年楽しみにお越し下さる方が年々増えました。小さなお子様からお年寄りまで、様々な方が一服のお茶でのどかなひと時を過ごされます。

この度文化協会に入会させていただき運びとなり、茶道を通して文化や友達の和を広げていけたら幸いです。今後ご指導のほど、宜しくお願い致します。



『スタジオコッペリア』

代表 野田霞



この度、文化協会に入会させていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

約5年前に御殿場でバレエ教室の指導に携わりました。現在は、鈴木直敏・恵子バレエスクール御殿場教室のスタジオを、毎週木曜日にお借りしてレッスンをしています。

活動はジュニアフェスティバルの参加、御殿場ツクイサンシャイン老人ホームへの慰問、今後は洋舞のつどいへも参加したいと、毎回のレッスン指導に励んでいます。幼児、小学生から大人まで、楽しみながらしっかりとした基礎が身につくようにと、あせらず努力を重ねています。

未熟ではありますが、バレエを通して地域の皆様の生きがいといえるような活動を続けていければと思います。



平成29年度 御殿場市文化協会研修旅行記

日頃の善行のおかげで朝から穏やかに晴れ渡り、絶好の旅行日和に恵まれた5月17日、文化協会の研修旅行が行われました。

新東名高速道路を利用し最初に見学した『竜ヶ岩洞』では、二億数千万年前から続く万代不易の空気に触れ、地球の永い歴史の一端を肌で感じる事ができました。午後は井伊家の菩提寺である遠州の古刹『龍潭寺』を参拝しましたが、特に小堀遠州の作といわれ、数多くの石組みと築山全体で鶴亀を表現した、寺院庭園の代表ともいえる名園を感慨深く鑑賞しました。(表紙写真)



次に姫街道の要衝地で箱根・新居と並び東海三大関所の一つ、気賀関所を何のおとがめもなく通り『おんな城主直虎・大河ドラマ館』を見学しました。

ここではドラマの筋書きや内容がわかりやすく解説され、又、出演者のサインや撮影に使われた衣装や小道具が展示され、ドラマファンの聖地であると共に戦国の世の歴史を学ぶことができ、有意義な一日を過ごしました。 米光

文化の風

相撲甚句全国大会で敢闘賞！

相撲甚句会 小林三郎

日本相撲甚句会の本部は東京両国にあり、全国で42団体が加盟しています。当会は平成18年に認可され、生涯学習の一環として発足し、月2回市民交流センターで「楽しく・仲良く・元気よく」をモットーに全国・関東・東海の各地区大会、また地域の各種イベント等に向かって楽しく稽古に励んでいます。発足以来毎年全国大会に参加し、平成20年に技能賞、21年に会長賞、26年に殊勲賞、27年に名誉会長賞、そして本年は敢闘賞を受賞しました。27年には大相撲静岡場所に併せての草薙総合体育館落成記念式典に参加し、祝賀甚句を披露して、好評を博しました。また、各地域の各種イベント、敬老会施設の慰問等積極的に参加し皆さんとの交流を図っております。特に小山町の金時祭りには、毎年参加し、大砂嵐関と共演して好評を博し皆さんとの交流を図りました。これからも甚句の真髄を追求し稽古に励み精進してゆきたいと思っております。



相撲甚句の真髄を追求し稽古に励み精進してゆきたいと思っております。

ふじかわ健さん通算300回目の慰問達成

民謡研究会 小藤健造

昭和49年12月15日8名の有志で民謡研究会として発足しました。御殿場市文化協会の前身文化団体といわれた時代でした。試行錯誤しながら普及の結果、民謡研究会の名が知られるようになり、その後、他5団体に発展し御殿場市民謡連盟として旗揚げ、毎年年度末、又は新年の発表会には100曲余り披露、民謡の祭典として世に知れ渡っていました。

国際親善にも一役買ってアメリカの姉妹都市チェンバースバーグ市とビーバートン市を訪問、音頭やソーラン節など日本の民謡を披露。米国民も一緒に盛り上がり、国際親善の成果を果たしてきたと思っております。

この民謡は老人ホームにボランティア慰問として各施設を訪問し、入所者と一緒に大きな声で合唱、世相を風刺した漫談で笑わせています。「こんなに笑ったの初めて！」などと喜ばれました。他に昭和の名曲集や軍歌を数曲披露、楽しいひとときを過ごし次回を期待しています。家庭や社会に一生懸命に尽くされこれからという時に体の不調や認知症になって施設に入所した方々に日本の伝統文化である民謡や民舞を披露し文化の風にあたって大いに笑って涙もあり元気で長寿を全うして欲しいと思っております。



ビーバートン市姉妹都市提携30周年記念事業 “コーラスが架ける友好の橋”

合唱連盟 秋田重夫

米国オレゴン州にある姉妹都市ビーバートン市で合唱活動をしている「ISing Chor (アイシング クワイア)」という混声合唱団が、御殿場市との姉妹都市提携30周年を記念して来訪しました。御殿場市国際交流協会の声掛けにより、市内合唱団の指導者が集まり協議を重ねた結果、合同演奏(荒城の月・上を向いて歩こう)の企画が成り、演奏当日を迎えることとなりました。

当日は、ISing Chorの繊細で豊かなハーモニーに会場全体が酔いしれ、最後には、市内で活動する13の合唱団有志との合同演奏を披露しました。

200名を超える人たちが、言葉は通じなくてもコーラスという共通の表現方法で一つになったことは、



会場全体を心地よくし、ビーバートン市と御殿場市の友好をさらに深めることになったと思います。

第20回 名画劇場

オケ老人!

9/23(土) 13:00開場 13:30上映

御殿場市民会館 大ホール 全席自由
前売り券/500円 当日券/700円

チケット取扱所 ●御殿場市民会館 83-8000 ●エビショッピングセンター

主催/御殿場市文化協会・御殿場市民会館 後援/御殿場市
問合せ/御殿場市民会館 TEL 83-8000



第16回

National Institution For Youth Education
富士青少年教育振興機構
「子どもゆめ基金助成活動」
体験の風を
おこそう

文化少年団 体験教室

2017

8/9(水) 作る、触れる、
描く、考える……

御殿場市民会館小ホール

10:00 ~ 15:30 (最終受付 15:00)

お琴、生け花、茶道、和裁、陶芸、染め物、アートポーセリンなど
普段できないたくさんの方の文化体験を用意して、みなさんをお待ちしています。



みんなの「やってみたら」をまっくります。

主催 御殿場市文化協会 ☎0550-82-4533

後援 御殿場市・御殿場市教育委員会



出演団体出演者 ●番組名: FujiyamaSunshine
(フジヤマサンシャイン)
募集中!!

“カルチャーナビ”コーナー毎週火曜日12:30~12:40

このコーナーでは、御殿場市文化協会に加盟し、日々文化活動に精進している団体や個人にスポットをあて、1~2週にわたり活動内容や団体誕生秘話、これまでの歩み、会のモットー、とっておき情報、会員の皆様の熟練の技など直接スタジオに行き担当パーソナリティーとお話します。また、番組の最後はその週の協会、市民会館関連のイベント情報、チケット情報などの告知もさせていただきます。是非、地元のFMラジオに出演して皆さんの活動をPRしてみてください!

編集後記

昭和56年に「くろづくみ創刊号」が発刊されて以来、多くの諸先輩方に引き継がれこのたび第69号が出来上がりました。現在は、8頁の構成で年2回発行しております。多くの会員の皆様の記事をより多くの方々に見て頂けます様会議を重ねて頑張っておりますので、会員の皆様からの「くろづくみ」への投稿をお待ちしております。(川口)

題字/鳥宮 暁秀

御殿場市文化協会 御殿場市民会館内 〒412-0042 御殿場市萩原183-1
URL <http://gotemba-bunka.jp> Mail info@gotemba-bunka.jp TEL 0550-82-4533